

職場体験の学びを次の授業へつなぐ提案書

対象の例：中学校の職場体験・地域での体験学習 | 既存の事前学習・体験記録・振り返りを生かします

育てたい姿の例 見聞きした事実と自分の関心を結び付け、次に確かめることを選べる。

学校のねらいに合わせて、下の場面から必要なところを選びます。使う時間は、既存の授業計画の中で先生と調整します。

今ある場面	生徒に確かめる問いの例	私が準備・整理するものの例	先生が確認すること
体験前 事前学習	「この仕事について、何を知りたい？」 関心から確かめたいことを一つ選ぶ。	既存ワークシートの問いの整理案。 受入先へ伝えるねらい・質問・当日の流れ。	ねらい、質問の適切さ、 参加への配慮、安全。
体験中 今の記録	「誰のために、どんな工夫をしていた？」 実際に見聞きした場면을短く残す。	観察や聞き取りの視点。 学校と合意した連絡・運営の補助。	活動の実施、指導、 当日の判断と対応。
体験後 今の振り返り	「体験前の問いに、どんな答えが見つかった？」 確かめたことと、残った疑問を比べる。	事前と事後の記録を比べる授業案。 生徒の気づきを次の問いへつなぐ整理案。	生徒の言葉や行動を基に 指導・評価を行う。
次の学習 教科・学級活動 等	「次に何を、どこで確かめる？」 学校の学習計画から次の場面を選ぶ。	次の授業に使う教材・問いの案。 必要な記録の整理と次回の改善案。	次の学習先と時期、 記録の扱いを決める。

具体例を自校に置き換える

架空の例：お店で、表示や説明の工夫に気づいた場合
生徒が見た場面を確かめ、「相手に伝わる説明には何が必要か」を次の教科学習や発表準備につなぐ。
実際の単元目標に合わせて先生が選びます。

既存記録の使い方
体験前の問い → 現場で見聞きしたこと → 考えの変化や次の疑問。すぐに言葉にできない生徒は、口頭や選択式などから始めます。全員に同じ変化を求めません。

実施前に学校と確認すること

学校が、教育の方針・ねらい・指導・評価・実施を決定します。私は、合意した教材準備・受入先調整・運営・記録整理を分担します。

費用と範囲、校内・設置者の必要な手続、移動・引率・保険・緊急連絡・中止条件、個別の配慮、個人情報や撮影・公開の扱いを事前に確認します。

位置付け 職場体験を、教科や学級活動等での学びにつなぐ提案例です。学習評価は学校が行い、この資料は成績を付ける評価表ではありません。

相談の入口 「中2・職場体験の振り返りを相談したいです」の一文から。

初回30分無料。その後の設計・資料作成・実施支援は、範囲と費用を事前に確認し、お見積もりします。

吉田正之 | キャリア教育案内人 | 2026年10月13日更新 | A3横・1枚

参照：文部科学省「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」（2023年3月）第2章／本資料の問い・分担は吉田正之の提案です。
参照：文部科学省「キャリア・パスポートQ&A」（2022年3月改訂）問3・10。既存の取組と次の学習への活用を確認。

学校・先生向け相談フォーム

toi.manabi@gmail.com

